

## 外国語活動・外国語科

### 1 令和5年度大田区学習効果測定結果の分析

#### (1) 全体的に見た分析結果（6年生のみ）

全体的に見て、正答率は目標値より大きく上回っている。

#### (2) 観点別に見た目標値との比較

##### 知識・技能

正答率は、目標値よりも大きく上回っており、学習状況は良好といえる。

##### 思考・判断・表現

正答率は、目標値よりも上回っており、学習状況は良好といえる。

##### 主体的に学習に取り組む態度

正答率は、目標値よりも大きく上回っており、外国語科に対する関心は高いといえる。

### 2 昨年度の授業改善プランの検証 【成果（○）と課題（●）】

#### 知識・技能

○数字や天気など基本的な英単語が身に付いており、聞き取ったり会話で使用したりすることができた。

●似たような発音のアルファベットの聞き取りや、4線上にアルファベットを正しく書くことが不十分であった。

#### 思考・判断・表現

○友達との会話において、大まかな内容を理解し、それに対する受け答えをすることができた。

●音声の聞き取りや友達との会話では、細かい部分まで理解しきれないこともあった。

#### 主体的に学習に取り組む態度

○習った単語でゲームをしたり友達とコミュニケーションを取ったり、楽しく学習したことで意欲的に英語を話そうとしていた。

### 2 授業改善の骨子

(1) 日本語と外国語との違いなどに気付き、外国語のアルファベットや日常で使用する単語など基本的な表現に親しめる活動を設定する。

【知識・技能】

(2) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちを伝えたり相手の言いたいことや気持ちを理解する力を養う。

【思考・判断・表現】

(3) 多様言語やその背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図る場面を設定する。

【主体的に学習に取り組む態度】

## 外国語活動

### 外国語科

#### プラン①

日本語と外国語との違いなどに気付き、外国語のアルファベットや日常で使用する単語など基本的な表現に慣れ親しめる活動を設定する。

#### 低学年

- ・簡単な挨拶や身の回りの物を表す英語を知り、英語の音声やリズムに触れさせる。
- ・外国語教育指導員の発音を真似て、たくさん話させる。

#### 中学年

- ・3年生でローマ字の学習をするので、少しずつアルファベットを読んだり書いたりする学習を取り入れる。
- ・文字が発音されるのを聞いた際に、どの文字かが分かるように確認して慣れさせていく。

#### 高学年

- ・活字体で書かれた英語の文字を識別し、意味を理解させながらその読み方を発音することができるように練習をして慣れさせていく。
- ・自分のことや身近で簡単な事柄について、基本的な表現を聞き取ったり短い話の概要を捉えたりできるようにする。
- ・音声で十分慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるように繰り返し練習する。
- ・アルファベットを聞き分けたり大文字と小文字で書き分けたり、字形や4線の上に書く位置に注意したりして書けるよう繰り返し練習する。

#### プラン②

身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちを伝えたり相手の言いたいことや気持ちを理解する力を養う。

#### 低学年

- ・簡単な挨拶や質問の英語のフレーズを練習し、それに対する返しをいくつか練習し、友達に質問したり質問し返したりする。

#### 中学年

- ・基本的な表現を用いて、挨拶、感謝を伝えたり、簡単な指示に対して応じて動いたりできるようにする。
- ・自分のことや身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり答えたりする。

#### 高学年

- ・基本的な表現を用いて指示や依頼をしたり、それに応じたりすることができるように様々な表現に触れて発音練習をする。
- ・自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるように、友達同士、児童と外国語教育指導員の会話を繰り返し練習する。
- ・友達が言ったことを簡単にメモする、相手を見てコミュニケーションを取るなど相手が言ったことを理解するための取り組みを行う。

### プラン③

言語やその背景にある文化に対する理解を深め、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図る場面を設定する。

#### 低学年

- ・英語の歌やゲームを通して、コミュニケーションを図る楽しさを体験する。

#### 中学年

- ・英語の歌やゲームを通して、コミュニケーションを図る楽しさを体験する。
- ・教科書やデジタル教材を活用し、様々な国の文化や習慣の違いを知り、日本との共通点や相違点について話し合う活動を取り入れる。
- ・児童の日常生活に関して身近で簡単な事柄を取り扱うようにする。

#### 高学年

- ・教科書やデジタル教材を活用し、様々な国の文化や習慣の違いを知り、日本との共通点や相違点について話し合う活動を取り入れる。
- ・児童の日常生活に関して身近で簡単な事柄を取り扱うようにする。
- ・これまで学習した英語の表現を繰り返し練習し、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や表現を用いて話すことができるようにする。
- ・語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。